

サステイナブル・レポート 作成マニュアル



東京都環境局
資源循環推進部計画課

0. 目次

1. はじめに	2
2. 作成ツールの構成	3
3. 入力シートの入力にあたって	4
4. 入力シートの入力	5
5. 評価項目について	1 2
6. 記入例	2 2

1. はじめに

サスティナブル・レポートは、他事業所データと比較し3Rの実施状況や改善可能な点について診断し事業所の取組レベルを見える化したものです。今後の3Rの活動にお役立ていただけますと幸いです。

発行日：令和 年 月 日

サスティナブル・レポート

●このレポートでは、東京都環境局が都内事業所の再利用率計算書を収集・分析したデータを基に評価を行っています。

●前述のデータから自動で算定している数値は以下の通りです。

▶ベンチマーク評価（廃棄物発生量・再利用率評価）

※数値評価は、前年度の数値を基準としたものです。

▶次年度目標の数値（レポートR2.3を1）、目標発生量及び目標再利用率（レポートR2.3を2）

建物概要

建物所有権者

建物名称

建物住所

主な用途区分

産業物及び資源物の発生量と再利用率

実績年度	発生量	再利用率	再利用率
令和 年度			

ベンチマーク評価

※産業物発生量と産業物再利用率が同等の都内事業所を基準とした実績と表示しています。

発生量評価	再利用率評価	取組評価	総合レベル

発生量評価

詳細はレポートR.2へ

再利用率評価

詳細はレポートR.3へ

取組評価

詳細はレポートR.4へ

P.1

発生量評価

令和 年度

発生量

原単位

次年度目標

発生量

原単位

他の事業所に比べて発生量削減の取組が非常に良い項目です。

発生量	削減率	削減率	削減率	削減率

他の事業所に比べて発生量が大きい項目です。

評価を上げられるように発生量削減の可能性がないか検討してみましょう。

産業物種類	今年度評価	今年度発生量	目標の発生量

産業物種類	評価	産業物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	***	⑧その他可燃物（木・草・雑草等）	***
②雑紙・紙類	***	⑨燃焼灰	***
③雑草等	***	⑩燃焼灰	***
④雑草等	***	⑪燃焼灰	***
⑤燃焼灰	***	⑫燃焼灰	***
⑥燃焼灰	***	⑬燃焼灰	***
⑦燃焼灰	***	⑭燃焼灰	***

***：発生量ゼロ

P.2

再利用率評価

令和 年度

再利用率

次年度目標

再利用率

他の事業所に比べて再利用率の数値が非常に良い項目です。

再利用率	削減率	削減率	削減率	削減率

他の事業所に比べて再利用率が低い項目です。

評価を上げられるように再利用率の可能性がないか検討してみましょう。

産業物種類	今年度評価	今年度再利用率	目標再利用率

産業物種類	評価	産業物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	***	⑧その他可燃物（木・草・雑草等）	***
②雑紙・紙類	***	⑨燃焼灰	***
③雑草等	***	⑩燃焼灰	***
④雑草等	***	⑪燃焼灰	***
⑤燃焼灰	***	⑫燃焼灰	***
⑥燃焼灰	***	⑬燃焼灰	***
⑦燃焼灰	***	⑭燃焼灰	***

***：発生量ゼロ

P.3

取組評価

取組実施状況①

基本的事項	○の数	（最大数：6）
Reduce リデュース	○の数	（最大数：4）
Reuse リユース	○の数	（最大数：6）
Recycle リサイクル	○の数	（最大数：5）
取組強化	○の数	（最大数：6）
総合評価	○の数	（最大数：27）

実施状況（概要）

●産業廃棄物発生量の削減が図られている

●廃棄物の削減が図られている

●ごみ分別の区分や表示が適切にされている

●プラスチック類の3Rについて、取組をしている

●紙類の3Rについて、取組をしている

●資源物の3Rについて、取組をしている

P.4

2

2. 作成ツールの構成



はじめに

サステイナブル・レポートをご利用いただく際の説明が記載されています。

入力シート

建物概要や廃棄物及び資源物の発生量・再利用率を入力、取組状況を選択します。

レポートシート

他事業所と比較した取組レベルが表示されます。

入力シートに入力すると、レポートシートで事業所の取組レベルがわかります。

3. 入力シートの入力にあたって

直近にご提出された再利用計画書を
お手元にご準備ください。

再利用計画書の内容をもとに、
ご入力ください。

4. 入力シートの入力_作成日

1. 作成日を入力してください。

令和

6

年

4

月

1

日

発行日：令和 6年 4月 1日

サステイナブル・レポート

●このレポートでは、東京都環境局が都内事業者の再利用計画書を収集・分析したデータを基に評価を行っています。

●前述のデータから自動で算定している箇所は以下の通りです。

▶ベンチマーク評価（発生量評価・再利用率評価）

※取組評価は、訪問時のヒアリング結果を踏まえたものです。

▶次年度目標の数値(レポートP.2,3右上)、目標発生量及び目標再利用率(レポートP.2,3中段)

- 作成日を入力してください。
サステイナブル・レポートに反映されます。

4. 入力シート①_建築物所有者等、建物名称入力

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体

千代田区

建築物所有者等

〇〇株式会社

建築物名称

本社ビル

建物延床面積

m²

主な用途区分

建物概要

建物所在地：千代田区

建築物所有者等

〇〇株式会社

建築物名称

本社ビル

建物延床面積

—

m²

主な用途区分

—

- 建物所在自治体を選択し、建築物所有者等と建物名称を入力してください。
サステナブル・レポートに反映されます。

4. 入力シートの入力_建物延床面積、主な用途区分

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体	千代田区
建築物所有者等	〇〇株式会社
建築物名称	本社ビル
建物延床面積	㎡
主な用途区分	▼

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率を入力してください。

種類	令和	再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		

①事務所
②店舗（飲食店除く）
③飲食店・ホテル・式場
④学校
⑤介護・医療施設

- 建物延床面積を入力してください。
- 主な用途区分は▼をクリックし、表示される用途の中から該当するものを選択してください。

※建物用途が複数ある場合、延床面積の最も多い用途（または廃棄物が最も発生する用途）を選択ください。

4. 入力シートの入力_建物延床面積、主な用途区分

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体

千代田区

建築物所有者等

〇〇株式会社

建築物名称

本社ビル

建物延床面積

10,000 m²

主な用途区分

①事務所

建物概要

建物所在地：千代田区

建築物所有者等

〇〇株式会社

建築物名称

本社ビル

建物延床面積

10,000

m²

主な用途区分

①事務所

建物延床面積と主な用途がサステイナブル・レポートに反映されます。

4. 入力シートの入力_廃プラスチック類の発生量把握有無

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率

ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握してるか、選択してください。

種類	実績年度	発生量 (t)	再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙			

把握している
把握していない

● 「把握している」を選択した場合

⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物（廃プラを除く）		
不燃合計	0.000	0.000

● 「把握していない」を選択した場合

⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物（廃プラを含む）		
不燃合計	0.000	0.000

- ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率の把握の有無について選択してください。
選択した内容に応じて、入力部分が変化します。

4. 入力シートの入力_実績年度

※ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握してるか、選択してください。

	実績年度	令和 6
種類	発生量 (t)	再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		

廃棄物及び資源物の発生量と再利用率

実績年度	発生量	再利用率	再利用率
令和 6 年度	—	—	—

- 実績年度を入力してください。
サステナブル・レポートに反映されます。

4. 入力シートの入力_資源物・廃棄物の発生量と再利用量

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率

ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握してるか、選択してください。

種類	実績年度	令和
	発生量 (t)	再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		
③雑誌等		
④新聞、チラシ		
⑤段ボール		
⑥ミックスペーパー		
⑦その他紙類		
紙類小計	0.000	0.000
⑧厨芥類		
⑨その他可燃物 (木・草・繊維等)		
その他可燃小計	0.000	0.000
可燃合計	0.000	0.000
⑩飲料用びん		
⑪飲料用缶		
⑫ペットボトル		
⑬食用油		
⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物 (廃プラを含む)		
不燃合計	0.000	0.000
発生量合計	0.000	0.000

廃棄物及び資源物の発生量と再利用率

実績年度	発生量	再利用率	再利用率
令和 6 年度	23.44トン	18.211トン	77.7%

➤ 発生量と再利用率を入力してください。

※廃棄物種類名が再利用計画書と異なる場合は、最も適した廃棄物種類にご記入ください。

判断が難しい場合は、可燃物は「その他可燃物」に、不燃物は「その他不燃物」にご記入ください。

サステナブル・レポートに反映されます。

4. 入力シートの入力_飲食施設の有無

4. 取組状況について、選択ください。

※はじめに、食堂等の飲食施設の有無について選択してください。

基本的事項

飲食施設がある
飲食施設がない

● 「飲食施設がある」を選択した場合（例：Reduce リデュース 3.）

3. 【食堂等の飲食施設がある場合のみ回答】

食べきり運動等の食べ残し、売れ残り防止に向けた取組を行っているか
(例) お客様への食べきり啓発を実施、値引きなど売り切りに向けた取組の実施

4. 【食堂等の飲食施設がある場合のみ回答】

食堂やカフェテリアにおける使い捨てプラスチックの削減に取り組んで

取り組んでいる
取り組んでいない

● 「飲食施設がある」を選択した場合（例：Reduce リデュース 3.）

3. 【食堂等の飲食施設がある場合のみ回答】

食べきり運動等の食べ残し、売れ残り防止に向けた取組を行っているか
(例) お客様への食べきり啓発を実施、値引きなど売り切りに向けた取組の実施

4. 【食堂等の飲食施設がある場合のみ回答】

食堂やカフェテリアにおける使い捨てプラスチックの削減に取り組んで

—

- 食堂等の飲食施設の有無について、選択してください。
選択した内容に応じて一部設問の選択肢が変化します。

4. 入力シートの入力_取組実施状況の選択

4. 取組状況について、選択ください。

※はじめに、食堂等の飲食施設の有無について選択してください。

基本的事項

1. 産業廃棄物保管場所の掲示板を設置しているか

※詳細は廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）施行規則の「産業廃棄物保管基準」をご確認ください。

2. 臭気や汚水の漏洩はなく清潔な状態か

※詳細は廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）施行規則の

取組実施状況①

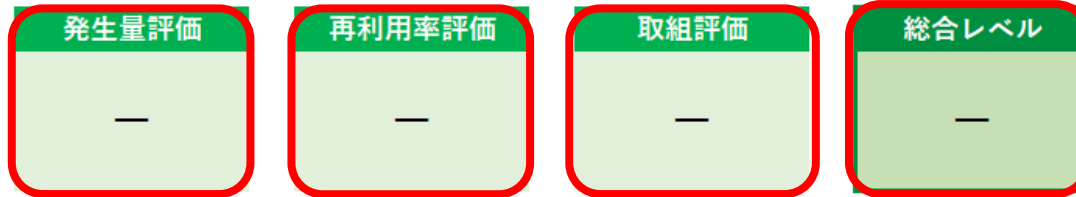
基本的事項	○の数		(最大数：6)
Reduce リデュース	○の数		(最大数：4)
Reuse リユース	○の数		(最大数：6)
Recycle リサイクル	○の数		(最大数：5)
取組強化	○の数		(最大数：6)
	総合評価		(最大数：27)

- 各設問に対し、▼をクリックし該当する選択肢を選んでください。
サステイナブル・レポートに反映されます。

5. 評価項目について

ベンチマーク評価

※延床面積と建物使用用途が同等の都内事業者さまの実績と比較しています。



発生量評価

▶ 詳細はレポートP.2へ

再利用率評価

▶ 詳細はレポートP.3へ

取組評価

▶ 詳細はレポートP.4へ

ベンチマーク評価はSからEの6段階で表示されます

評価	評価
S	5点
A	4点
B	3点
C	2点
D	1点
E	0点

評価に応じたコメントが表示されます

- 発生量評価：面積当たりの発生量を他の事業者と比べた場合の評価
- 再利用率評価：再利用率を他の事業者と比べた場合の評価
- 取組評価：取組実施状況に対する評価
- 総合レベル：発生量評価、再利用率評価、取組評価を点数化し、その平均点を四捨五入した値により評価

5. 評価項目について_発生量評価

発生量評価

令和7年度		次年度目標	
評価	発生量	評価	発生量
C	64トン	B	55.6トン
	原単位		原単位
	6.400 kg/m ²		5.560 kg/m ²

発生量全体の評価はC評価となります。もう少し取組ができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

廃棄物種類別にみると、他の事業所に比べ、⑦その他紙類⑭弁当がらの発生量抑制が優れています。

次年度はB評価を目指して、特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。④新聞、チラシ⑧厨芥類⑩飲料用びん⑪飲料用缶⑬食用油は他の事業所よりも発生量が多くなっています。発生抑制ができないか、検討してみましょう。

他の事業所に比べて発生量抑制の取組が非常に良くできている項目です。

⑦その他紙類	⑭弁当がら	—	—	—
A評価	A評価	—	—	—

他の事業所に比べて発生量が多い項目です。

評価を上げられるように発生量削減の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度発生量	目標発生量
④新聞、チラシ	E	4.000 トン	1.810 トン
⑧厨芥類	E	10.000 トン	8.930 トン
⑩飲料用びん	E	5.000 トン	1.020 トン
⑪飲料用缶	E	4.000 トン	2.340 トン
⑬食用油	E	2.000 トン	1.620 トン

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	C	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	B
②機密文書類	B	⑩飲料用びん	E
③雑誌等	D	⑪飲料用缶	E
④新聞、チラシ	E	⑫ペットボトル	C
⑤段ボール	D	⑬食用油	E
⑥ミックスペーパー	C	⑭弁当がら	A
⑦その他紙類	A	⑮廃プラスチック類	B
⑧厨芥類	E	⑯その他不燃物（廃プラを除く）	C

***：発生量ゼロ

今年度の評価から一つ上げることが次年度の目標となっています。

評価に応じたコメントが表示されます

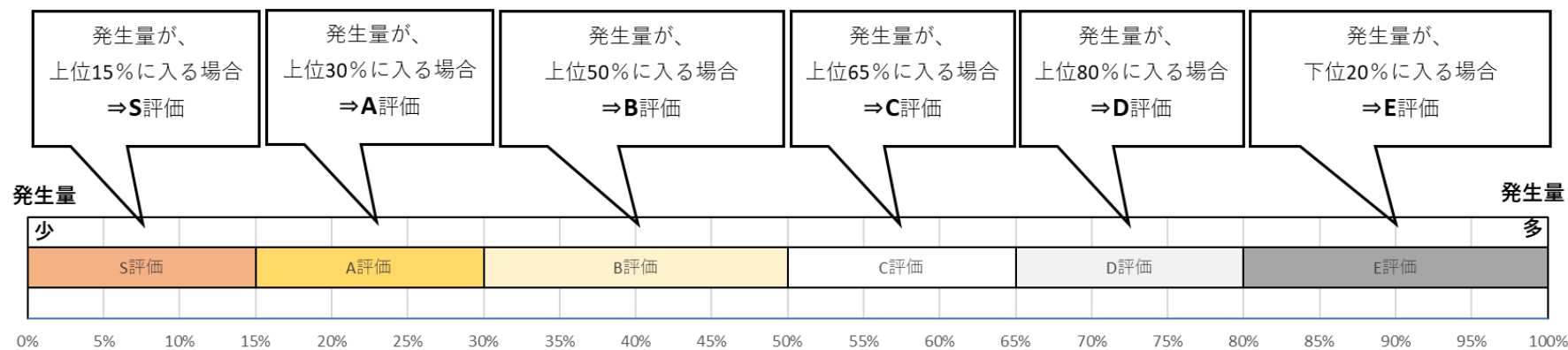
他の事業所に比べて、特に発生量が少ない廃棄物種類が表示されます。

他の事業所に比べて、発生量が多い廃棄物種類が表示されます。目標発生量は、一つ評価を上げるために目指すべき数値です。

廃棄物種類ごとの評価が表示されます。

5. 評価項目について_発生量評価（評価方法）

都内の同じ用途区分の建物データのうち、同規模の面積当たりの廃棄物発生量データと比較し評価をしています。廃棄物の発生量が少ない順に並べ、上位15%以内の発生量だった場合「S評価」を、上位15～30%以内だった場合「A評価」を、上位30～50%以内だった場合「B評価」を、上位50～65%以内だった場合「C評価」を、上位65～80%以内だった場合「D評価」を、それ以外を「E評価」としています。



5. 評価項目について_再利用率評価

再利用率評価

令和 7 年度	
評価	再利用率
C	51.6%

次年度目標	
評価	再利用率
B	65.0%

再利用率全体の評価はC評価となります。もう少し取り組みができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

廃棄物種類別にみると、他の事業所に比べ、①コピー用紙・OA用紙②機密文書類③雑誌等⑩飲料用びん⑪飲料用缶⑫ペットボトル⑬廃プラスチック類の再利用率が優れています。

次年度はB評価目指して、特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。⑥ミックスペーパー⑨その他可燃物（木・草・繊維等）⑭弁当がらは他の事業所よりも再利用率が低くなっています。再利用率を増やせないか、検討してみましょう。

他の事業所に比べて再利用の取組が非常に良くできている項目です。

①コピー用紙・OA用紙	②機密文書類	③雑誌等	⑩飲料用びん	⑪飲料用缶
S評価	S評価	S評価	S評価	S評価

他の事業所に比べて再利用率が低い項目です。

評価を上げられるように再利用の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度再利用率	▶	目標再利用率
⑥ミックスペーパー	E	0.0 %	▶	20 %
⑭弁当がら	E	0.0 %	▶	20 %
—	—	— %	▶	— %
—	—	— %	▶	— %
—	—	— %	▶	— %

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	S	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	E
②機密文書類	S	⑩飲料用びん	S
③雑誌等	S	⑪飲料用缶	S
④新聞、チラシ	D	⑫ペットボトル	S
⑤段ボール	D	⑬食用油	C
⑥ミックスペーパー	E	⑭弁当がら	E
⑦その他紙類	D	⑮廃プラスチック類	S
⑧厨芥類	D	⑯その他不燃物（廃プラを除く）	C

***：発生量ゼロ

今年度の評価から一つ上げることが次年度の目標となっています。

評価に応じたコメントが表示されます

他の事業所に比べて、再利用が進んでいる廃棄物種類が表示されます。

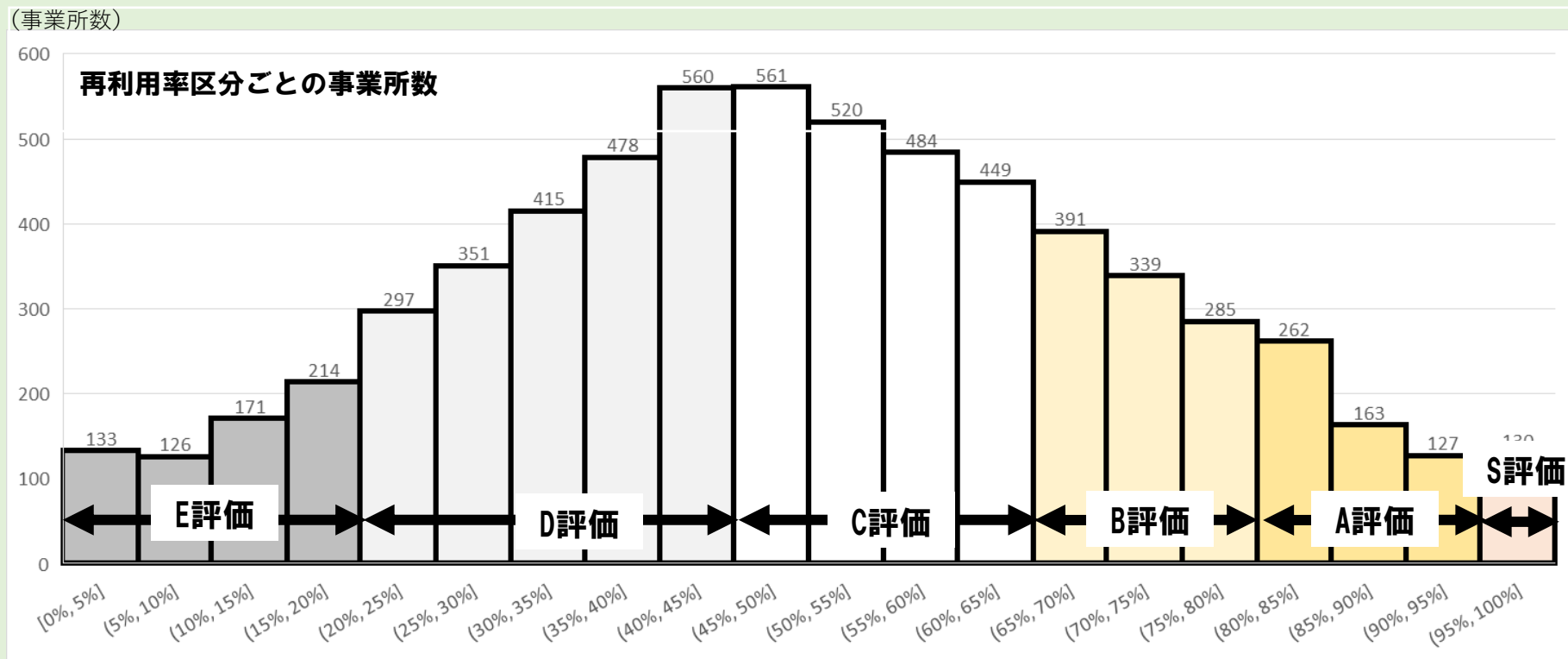
他の事業所に比べて、再利用率が低い廃棄物種類が表示されます。目標再利用率は、一つ評価を上げるために目指すべき数値です。

廃棄物種類ごとの評価が表示されます。

5. 評価項目について_再利用率評価（評価方法）

◆ 主な用途区分で「①事務所」を選ばれた場合

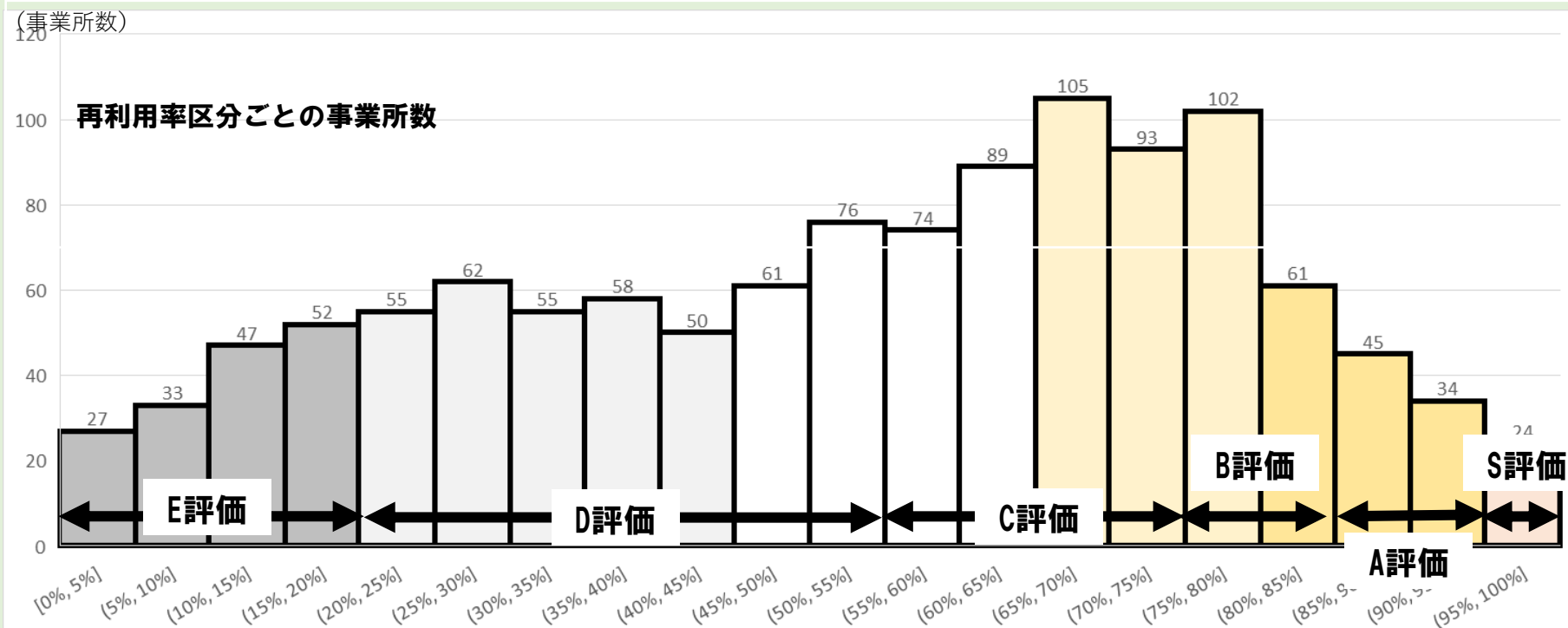
再利用率が95%以上の場合「S評価」を、80～95%を「A評価」、65～80%を「B評価」、45～65%を「C評価」、20～45%を「D評価」、20%未満を「E評価」としています。



5. 評価項目について_再利用率評価（評価方法）

◆ 主な用途区分で「②店舗（飲食店除く）」を選ばれた場合

再利用率が95%以上の場合「S評価」を、85～95%を「A評価」、75～85%を「B評価」、55～75%を「C評価」、20～55%を「D評価」、20%未満を「E評価」としています。

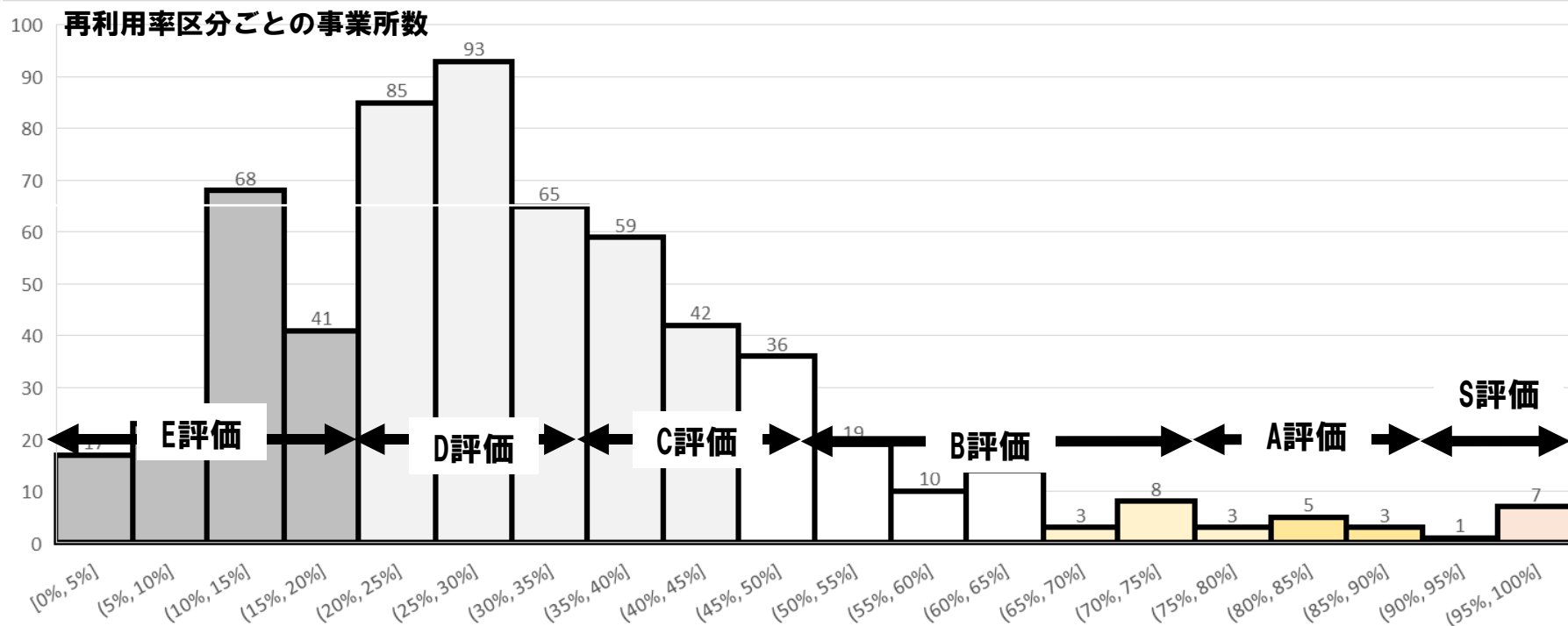


5. 評価項目について_再利用率評価（評価方法）

◆ 主な用途区分で「③飲食店・ホテル・式場」を選ばれた場合

再利用率が90%以上の場合「S評価」を、75～90%を「A評価」、50～75%を「B評価」、35～50%を「C評価」、20～50%を「D評価」、20%未満を「E評価」としています。

(事業所数)

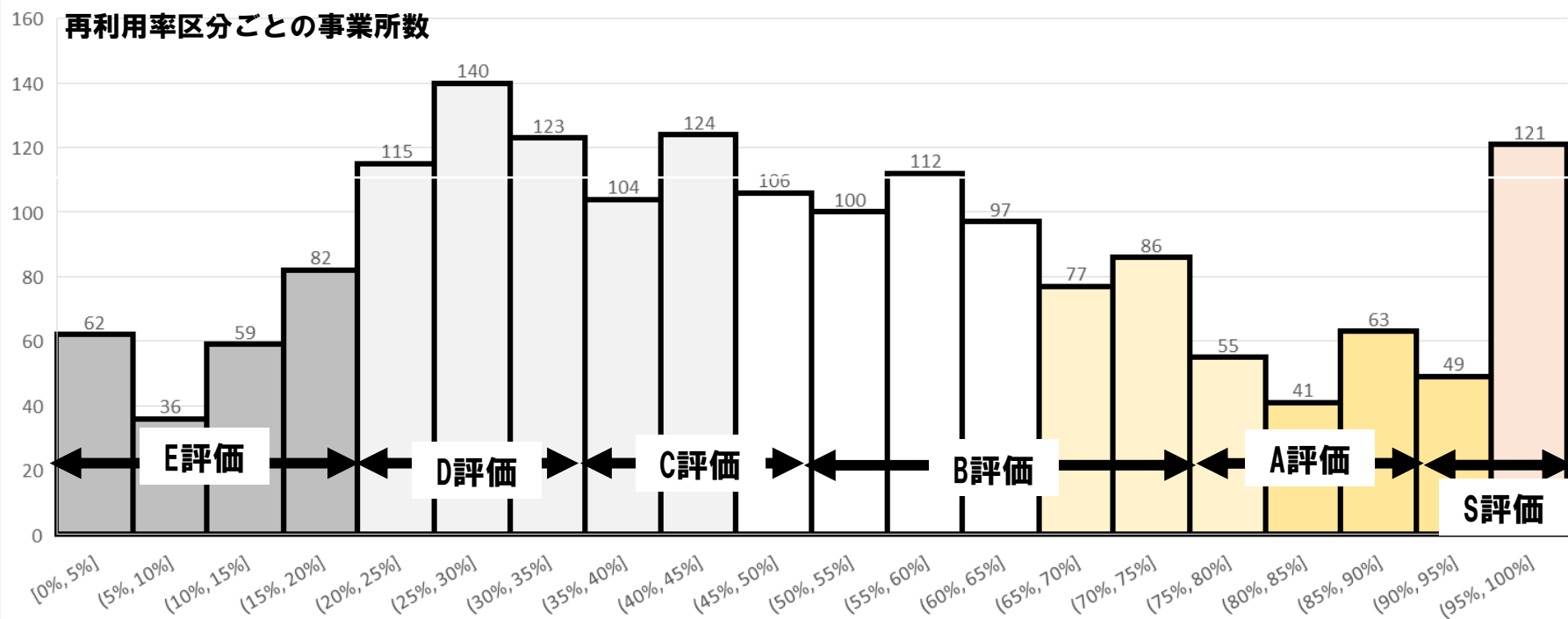


5. 評価項目について_再利用率評価（評価方法）

◆ 主な用途区分で「④学校」を選ばれた場合

再利用率が90%以上の場合「S評価」を、75～90%を「A評価」、50～75%を「B評価」、35～50%を「C評価」、20～35%を「D評価」、20%未満を「E評価」としています。

(事業所数)



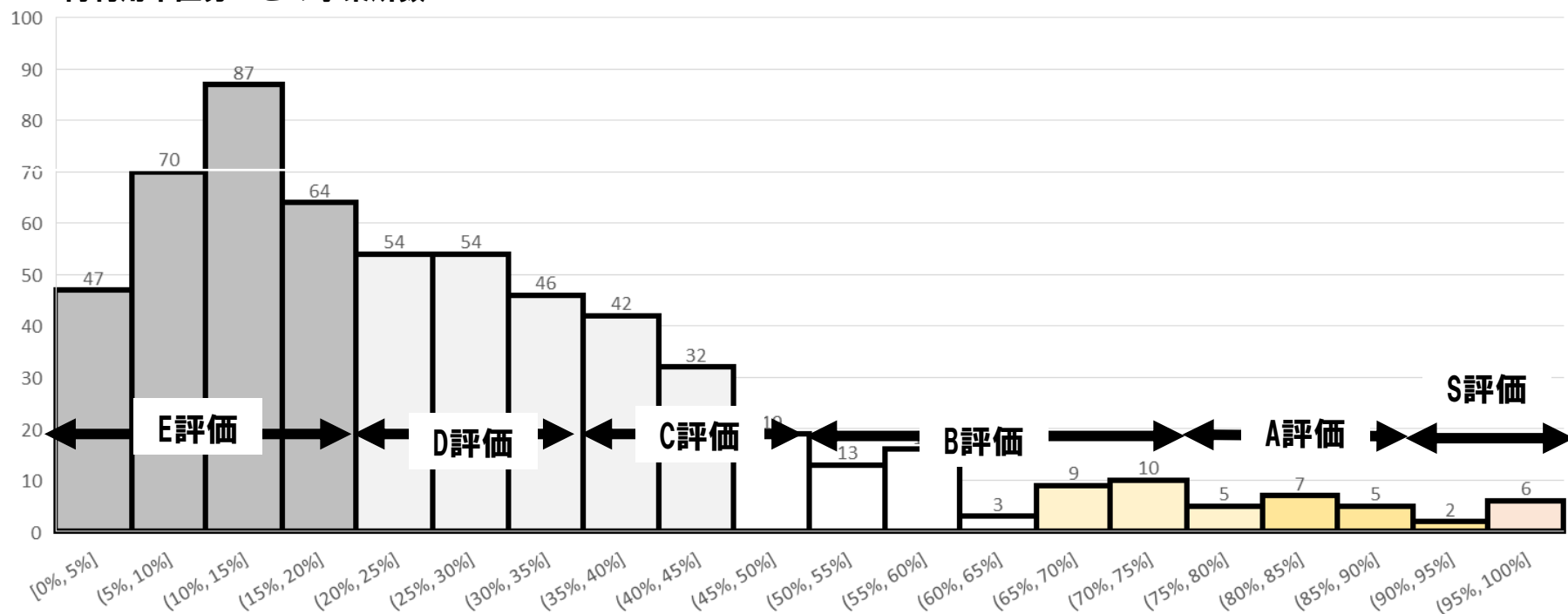
5. 評価項目について_再利用率評価（評価方法）

◆ 主な用途区分で「⑤介護・医療施設」を選ばれた場合

再利用率が90%以上の場合「S評価」を、75～90%を「A評価」、50～75%を「B評価」、35～50%を「C評価」、20～50%を「D評価」、20%未満を「E評価」としています。

(事業所数)

再利用率区分ごとの事業所数



5. 評価項目について_取組評価・総合評価方法

取組評価

取組実施状況①

基本的事項	○の数		(最大数：6)
Reduce リデュース	○の数		(最大数：4)
Reuse リユース	○の数		(最大数：6)
Recycle リサイクル	○の数		(最大数：5)
取組強化	○の数		(最大数：6)
総合評価			(最大数：27)

実施状況（概要）

- 産業廃棄物保管場所の掲示板が設置されている
- 臭気や汚水の漏洩がない
- ごみ種別の区分や表示が適切にされている
- プラスチック類の3Rについて、取組をしている
- 紙類の3Rについて、取組をしている
- 食品廃棄物の3Rについて、取組をしている

基本的事項、リデュース、リユース、リサイクル、取組強化毎の取組状況の評価が表示されます。

該当の項目の取組状況、プラスチック・紙・食品廃棄物の取組状況が表示されます。

5. 評価項目について_取組評価・総合評価方法

取組実施状況①評価方法

「○」を選択した場合は2点、「×」を選択した場合は0点とし、基本的事項、リデュース、リユース、リサイクル、取組強化毎に点数を合計し、評価基準に応じて評価しています。

合計点	評価
12点満点中11点以上	S
12点満点中9点以上	A
12点満点中6点以上	B
12点満点中4点以上	C
12点満点中2点以上	D
12点満点中1点以下	E

取組実施状況②評価方法

該当項目の取組状況を表示しています。
プラスチック、紙、食品廃棄物については、該当する設問の回答の点数
（「○」を選択した場合は2点、
「×」を選択した場合は0点）の合計
により評価しています。

評価	プラスチック	紙	食品 廃棄物※
満点	22点	16点	6点
○	15点以上	12点以上	4点以上 または 2点以上
×	9点以下	6点以下	3点以下 または 1点以下

※飲食施設がある場合は上段の、飲食施設がない場合は下段の、基準でそれぞれ採点されます。

記入例【町田市再利用計画書】

第2号様式-1

年 月 日

町田市長

様

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

氏名

法人にあっては、主たる事務

所在地、名称及び代表者の氏

電話番号 ()

廃棄物の減量及び再利用に関する計画書

2. 「建築物名称」に入力

町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第20条第3項の規定により、提出します。

規模	地上 階 地下 階
延べ面積	m ²
事業者名	
在館人員	従業員（テナント従業員含む。） 人 外来者（通学者含む。） 人 合計 人
用途	事務所 社 m ² ・ 店舗 店 m ² 住宅 世帯 m ² ・ その他 m ²
廃棄物回収業者	
再生资源回収業者	
廃棄物管理責任者 職 ・ 氏名	
電話 ()	-

1. 「建築物所有者等」に入力

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体

建築物所有者等

建築物名称

建物延床面積

主な用途区分

①

②

m²

記入例【町田市再利用計画書】

第2号様式-1

年 月 日

町田市長

様

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

氏名

法人にあっては、主たる事務所の

所在地、名称及び代表者の氏名

電話番号 ()

廃棄物の減量及び再利用に関する計画書

町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第20条第3項の規定により、提出します。

規模	地上 階 地下 階	
事業者名	延べ面積	m ²
在館人員	従業員（テナント従業員含む。） 外来者（通学者含む。） 合計	人
用途	事務所 社 m ² ・ 店舗 店 m ² 住宅 世帯 m ² ・ その他 m ²	
廃棄物回収業者		
再生资源回収業者		
廃棄物管理責任者 職 氏 名		
電話	()	-

2. 建築物概要を入力してください。

3. 「建物延床面積」に入力

建築物所有者等

建築物名称

建物延床面積

主な用途区分

③

④

4. 用途情報をもとに「主な用途区分」を選択

※建物用途が複数ある場合は、延床面積の最も多い用途（または廃棄物が最も発生する用途）を選択してください。

記入例【町田市再利用計画書】

第2号様式-2		今年度見込				
種類	年度および処理区分	20〇〇年度(月)	20〇〇年度(20〇〇年4月)			
		A (t) 排出量	B (%) 利用率	G (t) 排出量	H (t) 再利用率	I 処
紙 (〇A紙)				①に		
紙 (〇A紙以外)				⑦に		
新聞紙				④に		
雑誌				③に		
ダンボール				⑤に		
厨芥類 (生ごみ)				⑧に		
ビン				⑩に		
カン				⑪に		
廃プラスチック類				⑮に		
その他一般廃棄物				⑨または⑯に		
その他産業廃棄物				⑯		
剪定枝・落ち葉・雑草				⑨に		
計						

※ 分別の種類の少ない場合は、排出量の第一位まで記入してください

※可燃物は「⑧その他可燃物(木・草・繊維等)」に、不燃物は「⑮その他不燃物(廃プラ等)」に

※可燃物量、不燃物量がわからない場合は按分または排出量が多いほうへ

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率

※ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握しているか、選択してください。

種類	実績年度	令和
	発生量 (t)	再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		
③雑誌等		
④新聞、チラシ		
⑤段ボール		
⑥ミックスペーパー		
⑦その他紙類		
紙類小計	0.000	0.000
⑧厨芥類		
⑨その他可燃物(木・草・繊維等)		
その他可燃小計	0.000	0.000
可燃合計	0.000	0.000
⑩飲料用びん		
⑪飲料用缶		
⑫ペットボトル		
⑬食用油		
⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物(廃プラを除く)		
不燃合計	0.000	0.000
発生量合計	0.000	0.000

記入例【八王子市再利用計画書】

第2号様式（第13条関係）（表）
八王子市長 殿
廃棄物の減量及び再

建築物名称			
所在地			
所有者氏名			

八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第19条第3項の規定により、一定規模以上の事業用建築物における____年度の再利用計画書を以下のとおり提出します

1	建築物の属性		
建築物の規模	地上 階、地下 階、延べ床面積 (内訳) 主たる建築物に 限る 10,000㎡以上 棟、3,000㎡以上 棟、3,000㎡未満 棟 計		
建築物の用途	事務 2.「建築物名称」に入力		
計は建築物の敷載面積と延べ床面積とを合算した面積に相当する	延べ床面積 計 ㎡		
竣工年月	年 月		
当該建築物を当使用者が使用するに当たって、当該建築物の名称を記載する必要がある場合は、ここに記入する			
在館人員	従業員 人、外来者 人		

2	ごみ減量及び再利用の現況		

3	今年度の目標		

1. 「建築物所有者等」に入力

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体	
建築物所有者等	①
建築物名称	②
建物延床面積	㎡
全体用途区分	

建築物名稱	
所在地	
所有者氏名	

3. 「建物延床面積」に入力

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体	
建築物所有者等	
建築物名称	
建物延床面積	③ m ²
主な用途区分	④

2	ごみ減量及び再利用の現況

3	今年度の目標

記入例【八王子市再利用計画書】

8 減 量			利 用	
年 度 区 分			今 年 度 計 画 (年 4	
種 類			D (E+F)	処 理
			排 出 量	E 再 利 用 量
一 般 廃 棄 物	紙 類	新 聞 紙	④に	④に
		タ ン ボ ー ル	⑤に	⑤に
		雑 誌 ・ 雑 紙	③に	③に
		O A 紙	①に	①に
		機 密 文 書	②に	②に
		そ の 他 ()	⑦に	⑦に
	小 計			
	食 品 廃 棄 物		⑧に	⑧に
	そ の 他 可 燃 ご み		⑨に	⑨に
	そ の 他 ()		⑨に	⑨に
産 業 廃 棄 物	計			
	ビ ン 類		⑩に	⑩に
	缶 類		⑪に	⑪に
	ベ ッ ト ボ ト ル		⑫に	⑫に
	廃 プ ラ ス チ ッ ク		⑮に	⑮に
	ガ ラ ス ・ 陶 器 ぐ ず		⑬に	⑬に
	金 属 ぐ ず		⑭に	⑭に
	油			
	焼 却 灰			
	汚 泥		⑯に	⑯に
合 計	そ の 他 ()			
	そ の 他 ()			
	そ の 他 ()			
	計			

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率

※ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握してるか、選択してください。

種類	把握している	
	実績年度 発生量 (t)	令和 再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		
③雑誌等		
④新聞、チラシ		
⑤段ボール		
⑥ミックスペーパー		
⑦その他紙類		
紙類小計	0.000	0.000
⑧厨芥類		
⑨その他可燃物（木・草・繊維等）		
その他可燃小計	0.000	0.000
可燃合計	0.000	0.000
⑩飲料用びん		
⑪飲料用缶		
⑫ペットボトル		
⑬食用油		
⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物（廃プラを除く）		
不燃合計	0.000	0.000
発生量合計	0.000	0.000

記入例【千代田区再利用計画書】

第2号様式（第10条関係）

事業用大規模建築物における再利用計画書

令和 年 月 日

千代田区長 様

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

所有者氏名

（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

1. 「建築物所有者等」に入力

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第14条第3項の規定により、事業用大規模建築物における令和 年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性			
地上 階 地下	事業用延床面積	㎡	建築物の用途
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等（下4行に記入）			
建築物の名称	事務所		
建築物の所在地	店舗（飲食店を除く）		
階数（地上・地下）	飲食店・ホテル・式場		
事業用延床面積	工場・研究施設		
当該建築物を使用している事業者の名称（別紙添付可）	倉庫・流通センター		
	医療機関		
在籍人員 従業員（テナント従業員含む）	人	計	共用部分
外来者（通学者を含む）	人	人	計
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先	
今年度の目標		廃棄物管理責任者	
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減を予想される事由等		選任年月日 年 月 日	
		廃棄物管理責任者講習会受講 有 ・ 無	
		（受講年月日 年 月 日）	
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標		会社名	
		所在地	
		所属名称	
		氏名	
3 今後の具体的取り組みについて		氏名	
		電話番号	
		内線	

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体

建築物所有者等

建築物名称

建物延床面積

主な用途区分

①

②

2. 「建築物名称」に入力

記入例【千代田区再利用計画書】

第2号様式（第10条関係）

事業用大規模建築物における再利用計画書

千代田区長 様

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

所有者氏名

（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第14条第3項の規定により、事業用大規模建築物の再利用計画書を以下のとおり提出します。

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体

建築物所有者等

建築物名称

建物延床面積

主な用途区分

3. 「建物延床面積」を入力

③ m²

④

建 築 物 の 属 性			
地上 階 地下 階	事業用延床面積	㎡	建築物の用途
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等（下4行に記入）			事務所 社 ㎡
建 築 物 の 名 称			店舗（飲食店を除く） 店 ㎡
建 築 物 の 所 在 地			飲食店・ホテル・式場 店 ㎡
階 数（地上・地下）			工場・研究施設 所 ㎡
事業用延床面積			倉庫・流通センター 所 ㎡
当該建築物を使用している事業者の名称（別紙添付可）			医療機関 所 ㎡
			その他（ ） ㎡
在籍人員 従業員（テナント従業員含む） 人 計			住宅 世帯 ㎡
外来者（通学者を含む） 人			共用部分 ㎡
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先	
今 年 度 の 目 標			
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減を予想される事由等		廃棄物管理責任者 選任年月日 年 月 日 廃棄物管理責任者講習会受講 有 ・ 無 （受講年月日 年 月 日） 会社名 所在地 所属名称 氏 名 電話番号 内線	
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標			
3 今後の具体的取り組みについて			

4. 用途情報をもとに「主な用途区分」を選択

※建物用途が複数ある場合は、延床面積の最も多い用途（または廃棄物が最も発生する用途）を選択してください。

記入例【千代田区再利用計画書】

種 類		年 度 区 分	
		今年度計画 (年)	処理区
事業系廃棄物	可燃物	①コピー・OA用紙	①に
		②機密文書等(一括処理文書)	②に
		③雑誌・パンフレット・色付き紙	③に
		④新聞・折込チラシ	④に
		⑤段ボール	⑤に
		⑥ミックスペーパー	⑥に
		⑦その他 ()	⑦に
		紙類小計 (①～⑦の合計)	. t . t
	その他	⑧生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	⑧に
		⑨木・草・繊維等	⑨に
		その他小計 (⑧⑨の合計)	. t . t
	可 燃 物 合 計 (①～⑨の合計)		. t . t
	不燃・焼却不適物	⑩飲食用びん類	⑩に
		⑪飲食用缶類	⑪に
		⑫ペットボトル	⑫に
		⑬食用油	⑬に
		⑭弁当ガラ	⑭に
⑮その他 ()		⑮に	
⑯その他 ()		⑮に	
不燃・焼却不適物合計 (⑩～⑯の合計)		⑮に	
⑰特定の事業活動に伴う可燃物		. t . t	
総 合 計 (①～⑰の合計)		. t . t	

3. 廃棄物種類別発生量・再利用量

※ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用量を把握してるか、選択してください。

種類	把握している	
	実績年度	令和
発生量 (t)		再利用量 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		
③雑誌等		
④新聞、チラシ		
⑤段ボール		
⑥ミックスペーパー		
⑦その他紙類		
紙類小計	0.000	0.000
⑧厨芥類		
⑨その他可燃物(木・草・繊維等)		
その他可燃小計	0.000	0.000
可燃合計	0.000	0.000
⑩飲料用びん		
⑪飲料用缶		
⑫ペットボトル		
⑬食用油		
⑭弁当ガラ		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物(廃プラを除く)		
不燃合計	0.000	0.000
発生量合計	0.000	0.000

記入例【足立区再利用計画書】

第2号様式(第8条関係)
(表面)

事業用大規模建築物における再利用計画書

(提出先)
足立区長

令和 年 月 日

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

所有者氏名

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第9条第3項の規定により、事業用大規模建築物における年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性	
地上 階 地下 階 事業用延べ床面積	㎡
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)	建築物の用途
建築物の名称	事務所 社
建築物の所在地	店舗(飲食店を除く。) 店
階数(地上・地下)	飲食店・ホテル・式場 店
事業用延べ床面積	㎡

2. 「建築物名称」に入力

当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)

在館人員	従業員(パート従業員を含む。)	人	計
外来者(通学者を含む。)	人		

廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		

1. 「建築物所有者等」に入力

2. 建築物概要を入力してください。

建物所在自治体	
建築物所有者等	①
建築物名称	②
建物延床面積	㎡
主な用途区分	

記入例【足立区再利用計画書】

第2号様式(第8条関係)
(表面)

事業用大規模建築物における再利用計画書

(提出先)
足立区長

令和 年 月 日

建築物名称

建築物所在地

所有者住所

所有者氏名

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

3. 「建物延床面積」に入力

足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第1条第3項の規定により、事業用大規模建築物における令和 年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建 築 物 の 属 性	
地上 階 地下 階	事業用延べ床面積 m ²
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)	
建 築 物 の 名 称	事務所 社
建 築 物 の 所 在 地	店舗(飲食店を除く。) 店
階 数 (地 上 ・ 地 下)	飲食店・ホテル・式場 店
事 業 用 延 べ 床 面 積	工場・研究施設 所 m ²
	倉庫・流通センター 所 m ²
	医療機関 所 m ²
	その他() m ²
	住宅 世帯 m ²
	共用部分 m ²
在館人員	従業員(パート従業員を含む。) 人
	計 人
外来者(通学者を含む。)	人
	計 m ²
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者
	許可番号
	持込先
	ごみ減量及び再利用の取組
再生資源の種類	再生資源回収業者
	持込先

2. 建築物概要を入力してください。

建築物所在自治体

建築物所有者等

建築物名称

建物延床面積 ③ m²

主な用途区分 ④

4. 用途情報をもとに「主な用途区分」を選択

※建物用途が複数ある場合は、延床面積の最も多い用途(または廃棄物が最も発生する用途)を選択してください。

記入例【足立区再利用計画書】

年度区分		今年度計画(年)	
種 類		発 生 量 (D)	再 利 用 量 (E)
事業系一般廃棄物	コピー、OA用紙等	①に	+
	新聞紙、折込広告等(チラシ)	④に	+
	雑誌、パンフレット・色付き紙	③に	+
	一括処理文書(機密文書等)	②に	+
	段ボール	⑤に	+
	その他紙類 ()	⑦に	+
	紙 類 小 計	0.0 t	0.0 t
産業廃棄物	厨芥(茶殻、残飯等の生ごみ)	⑧に	+
	その他可燃物 ()	⑨に	+
	合 計	0.0 t	0.0 t
産業廃棄物	飲料・食料用びん類	⑩に	+
	飲料・食料用缶類	⑪に	+
	廃プラスチック類(ペットボトルを除く)	⑬に	+
	ペットボトル	⑫に	+
	ガラス・陶磁器くず	⑮に	+
	金属くず	⑮に	+
	廃油(食用油を除く)	⑮に	+
	食用油	⑬に	+
	その他産業廃棄物 ()	⑮に	+
	特定の事業活動に伴う可燃物	t	t
	合 計	0.0 t	0.0 t

3. 廃棄物種類別発生量・再利用率

※ペットボトルを除く廃プラスチック類の発生量、再利用率を把握してるか、選択してください。

種 類	実績年度	
	発生量 (t)	令和 再利用率 (t)
①コピー用紙・OA用紙		
②機密文書類		
③雑誌等		
④新聞、チラシ		
⑤段ボール		
⑥ミックスペーパー		
⑦その他紙類		
紙類小計	0.000	0.000
⑧厨芥類		
⑨その他可燃物(木・草・繊維等)		
その他可燃小計	0.000	0.000
可燃合計	0.000	0.000
⑩飲料用びん		
⑪飲料用缶		
⑫ペットボトル		
⑬食用油		
⑭弁当がら		
⑮廃プラスチック類		
⑯その他不燃物(廃プラを除く)		
不燃合計	0.000	0.000
発生量合計	0.000	0.000

お問い合わせ先

東京都環境公社

環境共生部

東京サーキュラーエコノミー推進センター

行動変容支援チーム

TEL : 03-6666-9198

東京都環境局

資源循環推進部計画課

TEL : 03-5388-3577

ご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。